

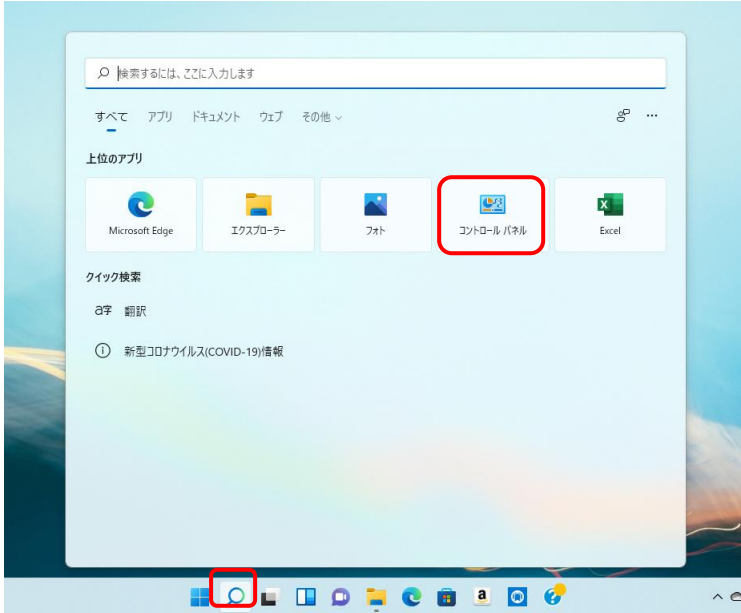
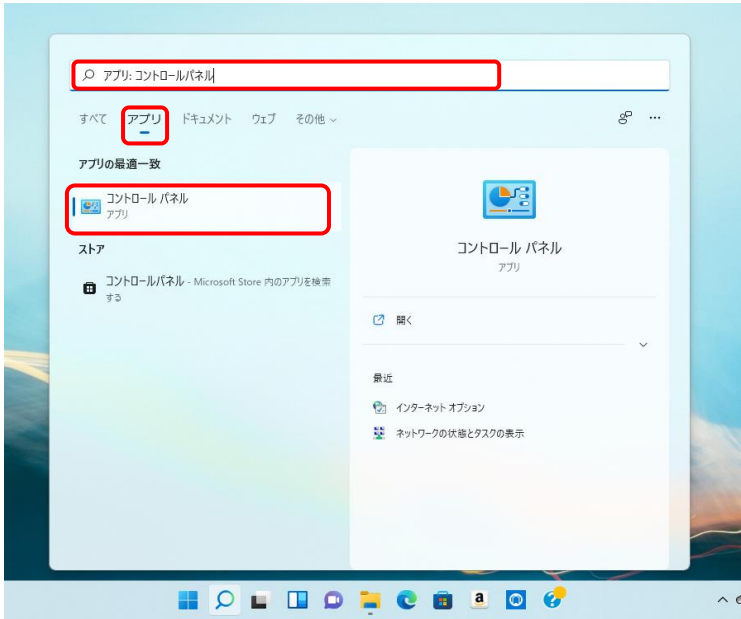
## 【Microsoft Edge（IEモード）における電子証明書の取得方法】



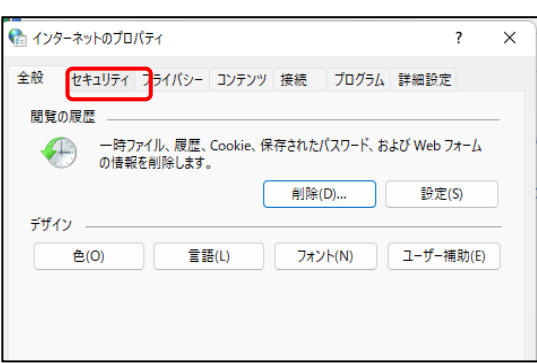
### 目次

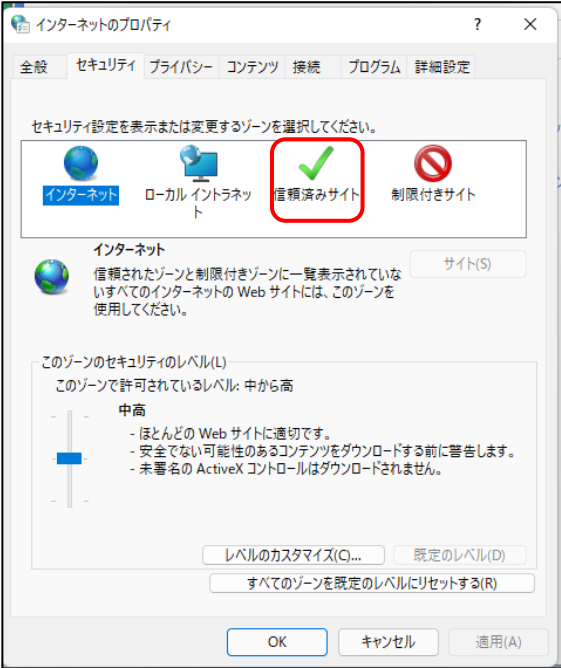
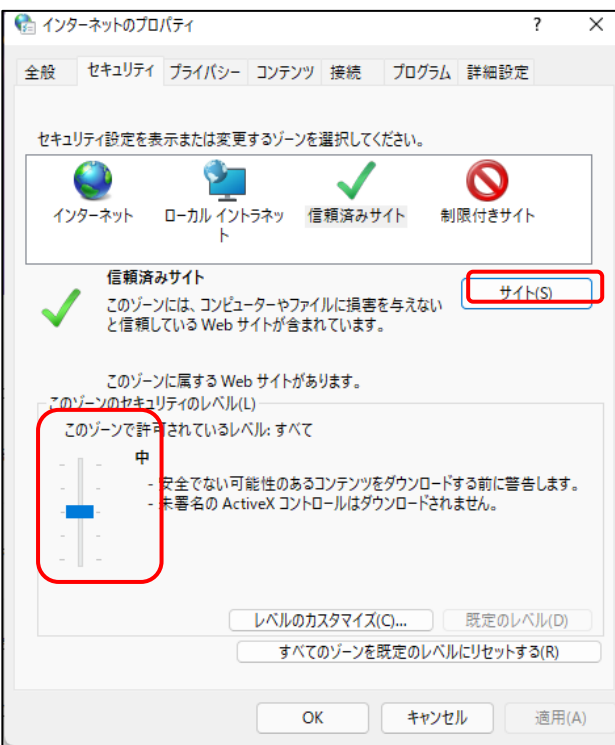
<a href="#">PCの事前設定事項</a> .....	<a href="#">2-8</a>
<a href="#">IEモード関連機能</a> .....	<a href="#">9-12</a>
<a href="#">電子証明書取得機能</a> .....	<a href="#">13-14</a>

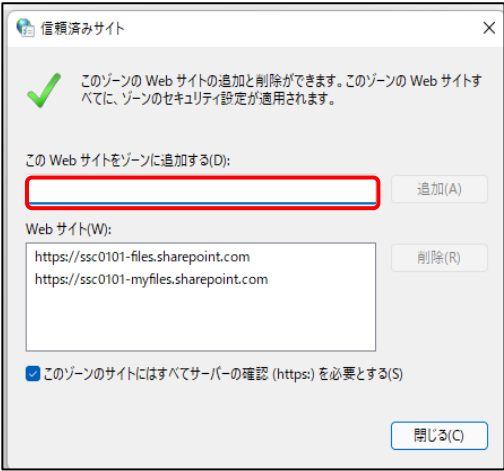


目次の手順を全て実施している必要があります。  
手順の一部を実施済みのお客様は、未実施の手順をご参照ください。

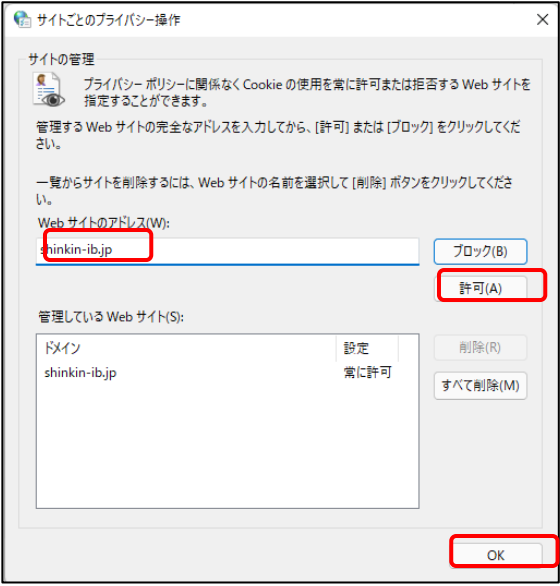
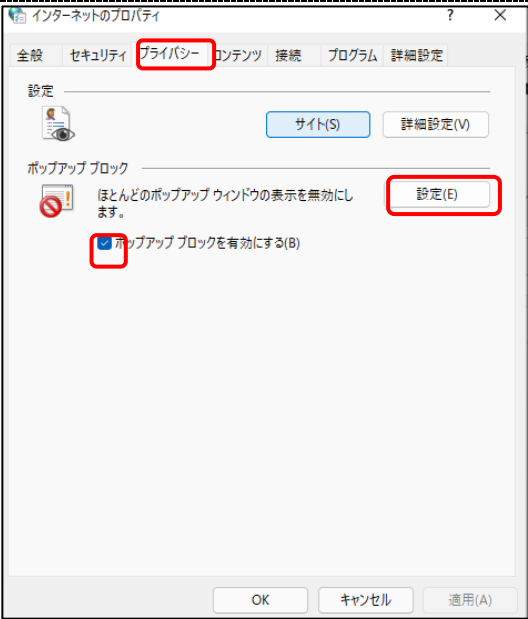
## PCの事前設定事項

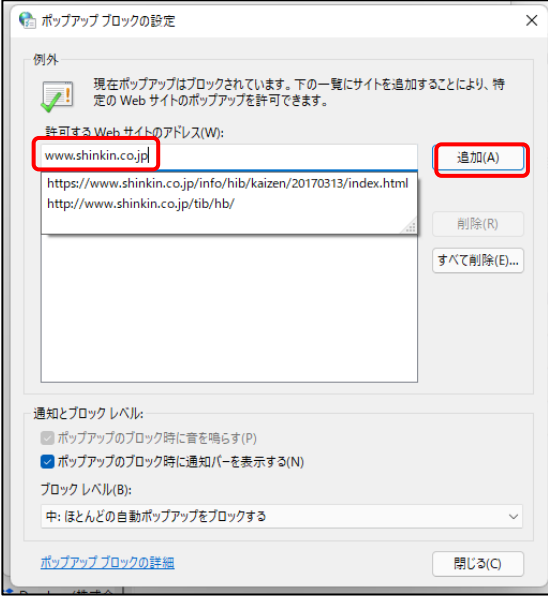
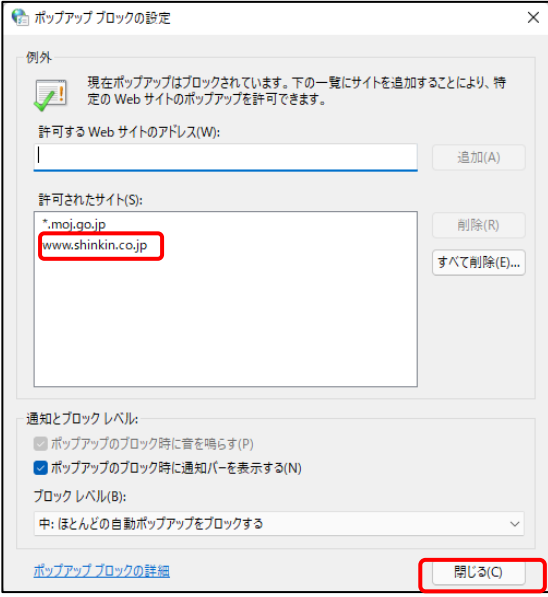
画面	操作
 	<p>1. スタートボタン横にある検索ボックスを選び、「コントロールパネル」を開いてください。</p> <p>※表示されていない場合は、検索ワード入力欄の下にあるメニュー欄から「アプリ」を選択し絞り込み検索をしてください。 検索キーワードにコントロールパネルと入力し、アプリの最適一致に表示されるコントロールパネル（アプリ）を選択してください。</p>

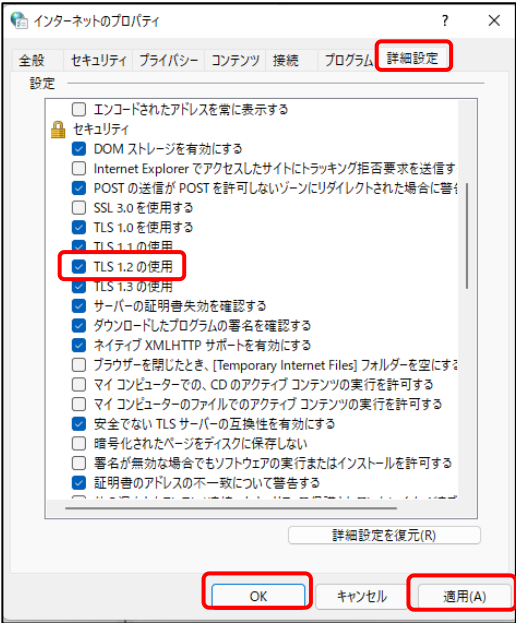
画面	操作
 <p>この画面は、Windowsのコントロールパネルの「ネットワークとインターネット」カテゴリの表示方法が「カテゴリ」になっていることを示しています。この設定は、コントロールパネルの右上隅にある「表示方法: カテゴリ」のプルダウンメニューで確認できます。</p>	<p>2. コントロールパネルの表示方法から「カテゴリ」を選択後、「ネットワークとインターネット」を選択してください。</p>
 <p>この画面は、「ネットワークとインターネット」設定の「インターネットオプション」リンクが選択されている様子です。左側のナビゲーションメニューで「インターネットオプション」が強調表示されています。</p>	<p>3. ネットワークとインターネットの「インターネットオプション」を選択してください。</p>
 <p>この画面は、「インターネットのプロパティ」ダイアログボックスの「セキュリティ」タブが選択されている様子です。タブメニューの「セキュリティ」が赤い枠で囲まれています。</p>	<p>4. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブを選択してください。</p>

画面	操作
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。</p> <p>インターネット ローカル イントラネット <b>信頼済みサイト</b> 制限付きサイト</p> <p>インターネット 信頼されたゾーンと制限付きゾーンに一覧表示されていないすべてのインターネットの Web サイトには、このゾーンを使用してください。</p> <p>このゾーンのセキュリティのレベル(L) このゾーンで許可されているレベル: 中から高</p> <p>中高</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ほとんどの Web サイトに適切です。</li> <li>- 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。</li> <li>- 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。</li> </ul> <p>レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D)</p> <p>すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>5. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択してください。</p>
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。</p> <p>インターネット ローカル イントラネット <b>信頼済みサイト</b> 制限付きサイト</p> <p><b>信頼済みサイト</b> このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えないと信頼している Web サイトが含まれています。</p> <p>このゾーンに属する Web サイトがあります。</p> <p>このゾーンのセキュリティのレベル(L) このゾーンで許可されているレベル: すべて</p> <p>中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。</li> <li>- 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。</li> </ul> <p>レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D)</p> <p>すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>6. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブから「信頼済みサイト」を選択し、「このゾーンのセキュリティレベル」を「中」に設定後、「サイト」を選択してください。</p> <p>※セキュリティレベルが、「カスタム」となっている場合は、「レベルのカスタマイズ」を選択し、「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」画面を表示してください。「ActiveX コントロールとプラグイン」の「ActiveX コントロールとプラグインの実行」が「有効にする」になっていることを確認してください。</p>

画面	操作
	<p>7. 信頼済みサイトの「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄に、下記 URL を入力してください。</p> <p>「https://*.shinkin-ib.jp」</p>
	<p>8. 信頼済みサイトの「この Web サイトをゾーンに追加する」に URL を入力後、「追加」を選択し、「閉じる」を選択してください。</p>
	<p>9. インターネットのプロパティの「プライバシー」タブの「サイト」を選択してください。</p>

画面	操作
	<p>10. サイトごとのプライバシー操作の「Web サイトのアドレス」の入力欄に、下記 URL を入力します。（半角）</p> <p>法人インターネットバンキングサービスをご利用の場合 「shinkin-ib.jp」</p> <p>しんきん電子記録債権サービスをご利用の場合 「dentrans.ne.jp」</p> <p>「許可」を選択後、「OK」を押下してください。</p>
	<p>11. インターネットのプロパティの「プライバシー」タブの「ポップアップブロックを有効にする」が有効（チェックあり）であることを確認し、「設定」を選択してください。</p>

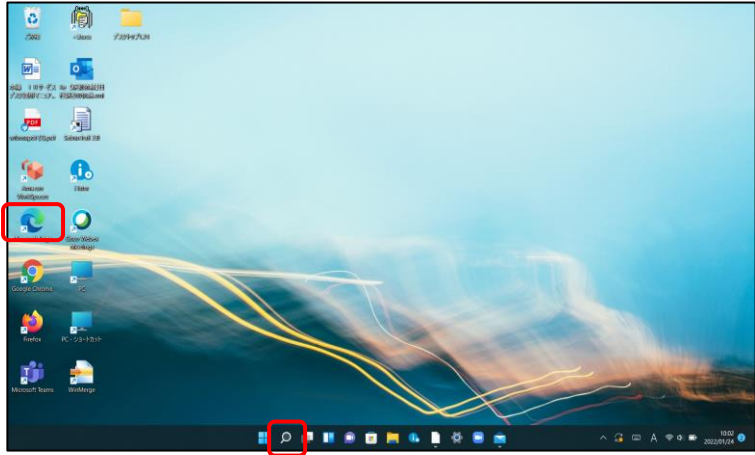
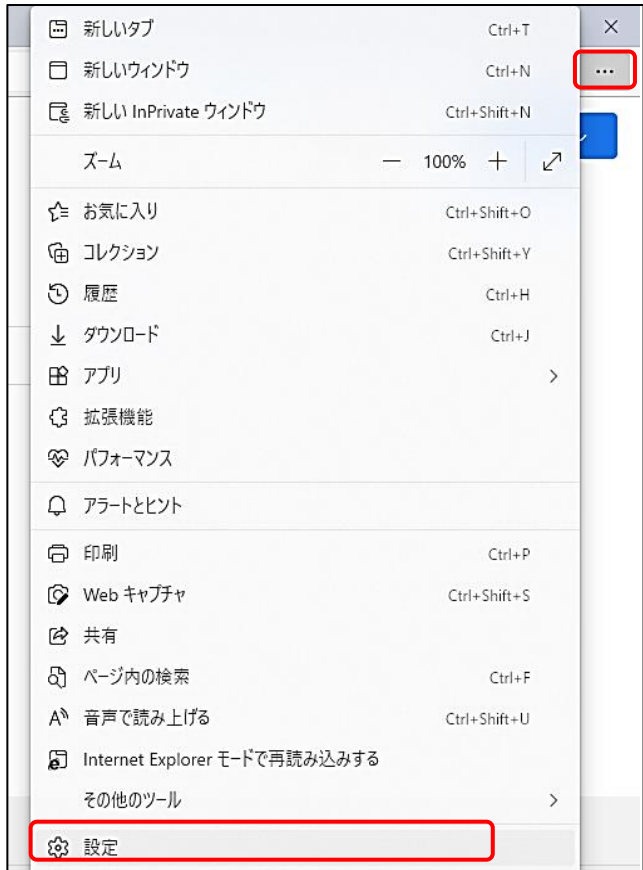
画面	操作
	<p>12. ポップアップブロックの設定の「許可する Web サイトのアドレス」の入力欄に下記 URL を入力し、「追加」を選択してください。</p> <p>「www.shinkin.co.jp」</p>
	<p>13. ポップアップブロックの設定の「許可されたサイト」に「www.shinkin.co.jp」が登録されたことを確認し、「閉じる」を選択してください。</p>




画面	操作
	<p>14. インターネットのプロパティの「詳細設定」タブを選択してください。「TLS1.2の使用」にチェックを入れます。「適用」を選択し、「OK」を選択してください。</p>

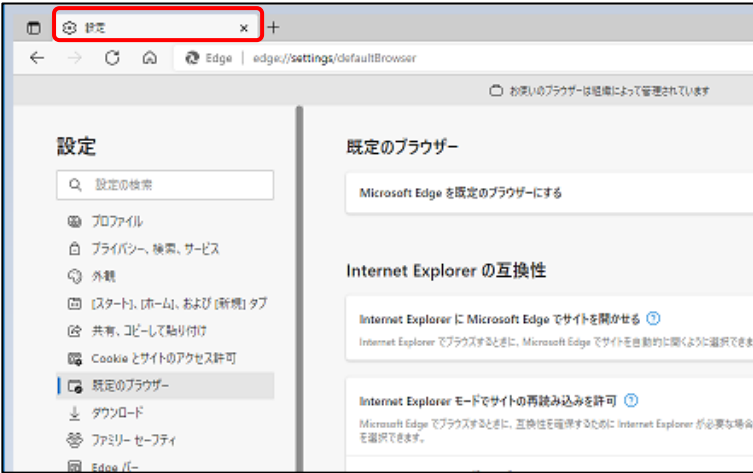
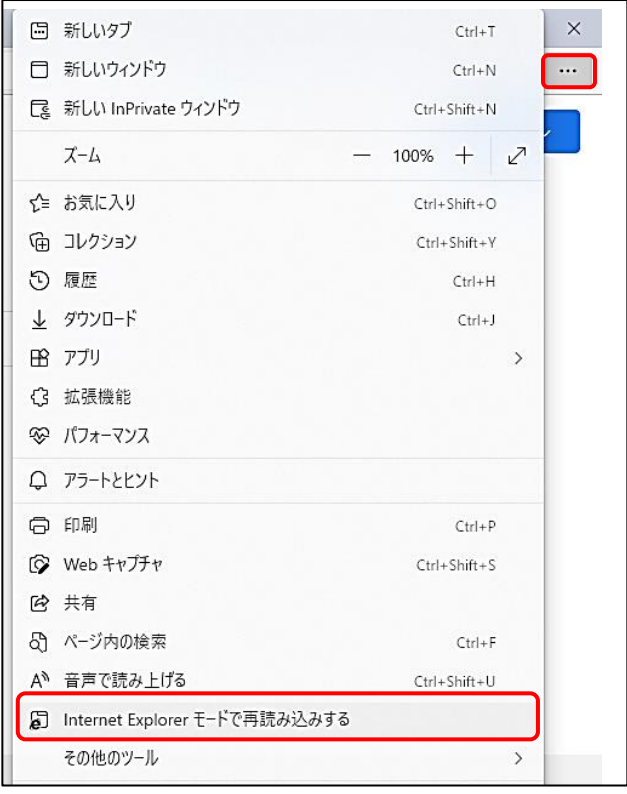
引き続き IE モード関連機能の手順を実施してください。




## IE モード関連機能

画面	操作
	<p>1. ホームやアプリ一覧から、ブラウザー Microsoft Edge を起動してください。</p>
	<p>2. ブラウザー Microsoft Edge にて、ご利用の信用金庫の HP を開いてください。</p> <p>3. 右上の「…」を選択し、メニューから「設定」を選択してください。</p>


画面	操作
	<p>4. 「設定」のタブが新しく表示されます。「既定のブラウザ」を選択してください。</p>
	<p>5. Internet Explorer の互換性の「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」にて、「許可」を選択してください。</p>
	<p>6. Internet Explorer の互換性の「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」にて、「再起動」を選択してください。</p>

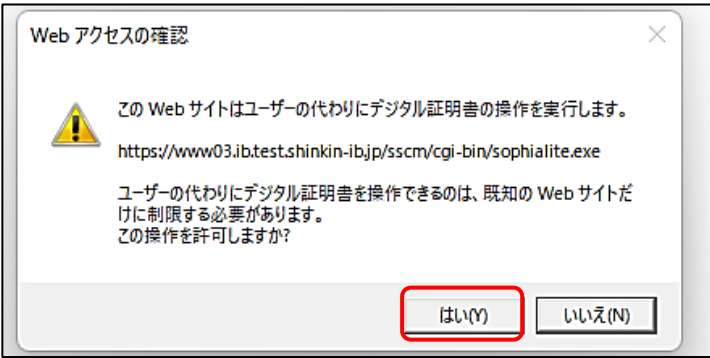

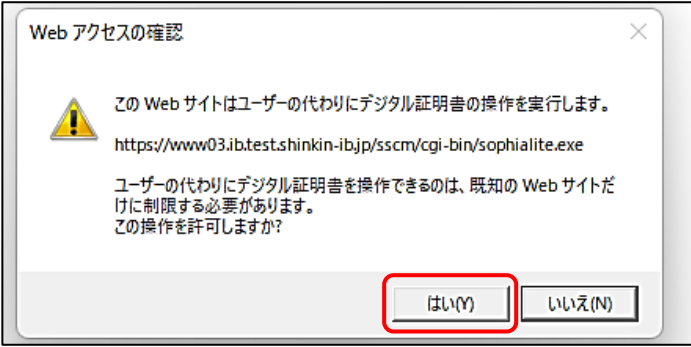
画面	操作
	<p>7. 「既定のブラウザ」が開かれている「設定」のタブを閉じてください。</p>
	<p>8. ご利用の信用金庫の HP 画面を表示してください。</p> <p>9. ブラウザー右上の「…」を選択し、メニュー内の「Internet Explorer モードで再読み込みする」を選択してください。</p>

画面	操作
	<p>10. ポップアップ画面にて「このページは Internet Explorer モードで開かれています」が表示されたら、「完了」を選択してください。</p> <p>※「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」はオフの状態であることを確認してください。</p>

引き続き電子証明書取得機能の手順を実施してください。

# 電子証明書取得機能

画面	操作
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 信用金庫のホームページから、インターネットバンキングの「電子証明書取得」を選択してください。</li> <li>2. 「電子証明書取得開始」画面が、ブラウザ—Microsoft Edge (IEモード)にて表示されていることを確認 (アドレスバーの左に Internet Explorer のアイコン「」が表示) してください。</li> <li>3. 契約者 ID/利用者 ID/利用者暗証番号を入力した上で「次へ」を選択してください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. ワンタイムパスワードを入力した上で「パソコンに保存する」を選択してください。</li> </ol> <p>※「専用 USB に保存する」を選択した場合は、「パソコンに保存する」を選択した場合と同様の画面遷移になります。</p> <p>※トークンを利用せず、利用者確認暗証番号を入力する場合も、同様の画面遷移になります。</p>

画面	操作
 <p>Web アクセスの確認</p> <p>この Web サイトはユーザーの代わりにデジタル証明書の実行します。  <a href="https://www03.ib.test.shinkin-ibjp/sscm/cgi-bin/sophialite.exe">https://www03.ib.test.shinkin-ibjp/sscm/cgi-bin/sophialite.exe</a></p> <p>ユーザーの代わりにデジタル証明書を実行できるのは、既知の Web サイトだけに制限する必要があります。  この操作を許可しますか?</p> <p>はい(Y) いいえ(N)</p>	<p>5. 「Web アクセスの確認」画面の「はい」を選択してください。</p>
 <p>新しい RSA 交換キーを作成します</p> <p>アプリケーションは保護されたアイテムを作成しています。</p> <p>CryptoAPI 秘密キー</p> <p>セキュリティレベル - 中 <span>セキュリティレベルの設定(S)...</span></p> <p>OK キャンセル 詳細(D)...</p>	<p>6. 「新しい RSA 交換キーを作成します」の「OK」を選択してください。</p>
 <p>Web アクセスの確認</p> <p>この Web サイトはユーザーの代わりにデジタル証明書の実行します。  <a href="https://www03.ib.test.shinkin-ibjp/sscm/cgi-bin/sophialite.exe">https://www03.ib.test.shinkin-ibjp/sscm/cgi-bin/sophialite.exe</a></p> <p>ユーザーの代わりにデジタル証明書を実行できるのは、既知の Web サイトだけに制限する必要があります。  この操作を許可しますか?</p> <p>はい(Y) いいえ(N)</p>	<p>7. 「Web アクセスの確認画面」の「はい」を選択してください。</p>

画面	操作
	<p>8. 左図のような画面が表示されれば、電子証明書取得が完了しました。</p> <p>※「専用 USB に保存する」を選択した場合は、「電子証明書 取得完了（専用 USB）」という画面が表示されます。（差分は表題のみです。）</p>